京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢 月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲新報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

京城新報

再び故伊藤公の銅像建設に就て

本編は昨四十二年七月、故伊藤公爵が統監の職を去りて歸東せらるゝに際り、本報が發表したるものである、茲に再び採錄して江湖の瀏覽に供する。

博文伊藤公爵任に統監の職に在ること三年有半、第一第二の協約によりて保護政治の端緒開かれたることは決して其功勞空しと云ふべからず、然るに余輩は最初より公の**統韓策**に就き**根本**に於て意見を異にしたるが爲に、過去二年間不絶公の政策に反對したりき、恰も是れ所謂**蟷螂が斧**を以て龍車に向ひたるの觀ありしならむ、而かも其間屢法に觸れて停止禁止の嚴命を受けたりき、然れども公は同じ天保政治家の中に於ても比較的進歩せる思想を有するを以て、余輩に向つて常に厭ふべき手段に出でざりしことは甚だ多とするに足るものあり、而して余輩が公の政策に反對したるは徒らに其政策遂行を妨害する爲にあらず、詮ずる所は、根本に於て政見を異にする爲め其の意見を發表して公の參考に供したるに外ならず、公も亦多少領悟する處ありしか、終には**反對論を遇する**に**頗ぶる宏量**を以てし、之れを撲滅せんと企てざりしのみならず、今春歸東せらるゝ際には反對論は他山の石にして反對論無き國家は衰滅す云々と云はれたり、余は公が反對論に對する進境を諒としたりき、而して公が從來施行したる處のものは概して余輩の希望に副はざるにも拘はらず余輩は、公を以て**日本の誇**りとすべき**最初の統監**と稱するに躊躇せざる也。今や公は統監の職を辭し、韓皇始め本邦移住民及韓民に暇を告げて去られんとす、此時に際して余輩は最早公の政策に就いて論議せざるべし、公の**偉大なる人格**に對して余輩の**筆劍は永遠に休戰**すべき也、而して余輩は此機會に於て特に**公の銅像**建設の議を提唱せんと欲す、

余輩が之を提唱するは蓋し大理由の存するもの無くんばあらず、韓國は數十年の歴史を有するの邦國也、李朝の世と成りてよりも既に五百有餘年の歴史を有す、而して其の歴史たるや全く**政治の腐敗退歩**を以て殆ど**一貫**し居れり、抑も之れ何に原因するか惟ふに韓國には不幸にして孔孟の敎も佛陀の法も國民の心底に徹せざりしが爲ならむ、故に此の半島及半島民を代表する政府には、先づ以て此の腐敗せる政治を改造するに若くは無し、之を改善するには、啻に法令や制度の改革のみにては決して此の效を奏せず乃ち此の法令制度を施行する人の**人格**を以て最も必要なりとす、從來半島の爲政者、在朝と在野とを問はず總て其の腐敗溷濁中に成長し來れるを以て此の點に於ては全く零なりと云はざるべからず、而して伊藤公は統監として三年有半の間に於て何事を彼等に敎へたるか、公は一擧一動、其言行に於て所謂**公明**と**廉潔**とを敎へたり、今日に於ては公の公明廉潔は朧げながらも韓民に理解せられし者あらば幷は公が公明廉潔の結果と云ふべき也、**臺灣**及び**樺太**等にては、領有の始に於ては官吏も在留民も概して其の公明廉潔を缺き種々なる醜聞ありしも、韓半島に於ては更に此の事の無かりしは公の公明と廉潔に因りたるや明か也。要するに公は半島が今後發達するに從て最も必要なる公明と廉潔とを實際に敎訓せられたるもの也、是れ土着民と移住民とを問はず此**偉大なる人格**を仰望して永く紀念せざる可らざる所以なり、此に於て余輩が公の銅像を建設すべく提唱する豈理由なしとせんや、世人も必ずや余輩提唱の理由を解して贊同せらるべしと信ず其建設すべき場所は南大門を以て好適とす費用の如きは日韓兩國人より醵出せば可也、要は永遠に公の銅像を仰ぎ見るものをして偉大なる人格を紀念し其の公明と廉潔とに化せしむるに在るのみ。

故伊藤公の爲めに余輩が銅像建設の議を唱へたる理由は前文の如し、當時余輩は此議を遂行せんと欲し、當時微力を盡して奔走計畫したのであつた、然るに或人余輩を説いて曰く、公の生前、此の計畫を實行し、万一往年湊川に於けるが如き不祥事發生して公の德を傷くることもあらば、罪を天下に負ふものであると、故に余輩は其の説に聽いて一向故公の美德を宣傳し、其の偉大なる人格を追慕しつゝ今日に迨むだのである。

時勢一轉進、故公が熱血を以て描かれたる日韓一家説は、最近に於ける併合によりて實現された、余輩が銅像建設を唱ふるの理由としては、前に唱へし處に加減すべきもののあるを見ざれども去りながら故公が哈爾賓の露と消ゆられたる後、更に又今日に於て故公を欽仰し追慕するの情深彌きを覺ふ、於此乎銅像を建設し故公の遺德を不朽に傳へむと欲するの念一層切なる者がある顧れば、故公が哈爾賓に於て薨去されしは去年十月二十六日であつた、其の一週年忌に當り東京谷垂なる故公の墳塋は改修せらるべく、同時に日比谷原頭帝國議會の前及神戸の兩所には公の銅像を、又哈爾賓には紀念碑を建設するの議ありと聞く、然れば故公と最も因緣深き半島の首都に銅像建設の企てあるは勿論其時と處とを得たるものと信ずる、希くは日鮮人協力して來るべき一週年祭に當り故公の銅像を南大門頭に建つるの議を決したいのである、偏に江湖の贊成を祈る。

故統監從一位大勲位伊藤公
公の一週年祭將に來らんとす



雜報

朝鮮教育の方針(帝國教育會調査脫稿)

帝國教育會にては過般來朝鮮に於ける敎育方針に關し調査中なりしが該問題に關する主査三土忠造、樋口勘次郎兩氏に依りて此程脫稿したる原案の大要は左の如し

一、敎育勅語の意味を普及し日本と朝鮮とが古來特別なる關係を有せる事を以て兩國の合併は當然の運命なるを了解せしめ且つ日本の臣民として文明の舞臺に樹つ事は朝鮮人民の發展の爲め有益なりといふ希望を與へしむる事

二、日本語の普及を以て當面の急務とし全力を此事に注ぐ事
其方法は(一)初等敎育には諺文及漢文を廢して日本語を以て敎授する事(二)日本語を敎授する學校に適當なる補助を與ふる事(三)師範學校を增設して日本語に熟達したる多數敎員を養成する事(四)各種學校專門學校に於ても日本文の敎科書を用ふるを正則とする事(五)日本語を以て官用語とする事(六)日本文にて書かれたる家庭讀物の類を普及せしむる方針を採る事

三、敎科書の編纂は特に重大なるを以て總督直隸の機關を設けて之に當らしむる事

文苑

◎秋　闌々生

手入し菊は咲きぬれど
冷かなる風身にしみて
野邊の青草まれなりき
あはれぞ知らる秋のくれ

東京電報

▲帝國議會の召集期 來る二十七議會は先頃來十一月下旬を以て召集せらるべしと專ら傳へられたるが朝鮮に關する政務其他多端にして其の運に至らず十二月二十日頃召集のことゝ內定したり(十三日)

▲葡萄牙と我態度 葡萄牙國新共和政體承認は我國も列國と同一の步調を執る事と決せり(同上)

▲三評定官の罷免 韓國に退官を決議されたる行政裁判所評定官松浦氏以下に對し今十三日官報を以て左の如く公布されたり(同上)

行政裁判所評定官 松浦良春
同 樋山資之
同 由布武三郞

本官を免ず(各通)

▲政友會と對議會 政友會の討議會方針は每議會召集前各地に於て開く地方大會に於て大体を發表せるが今期は未だ幹部の意見一定せずといふ(同上)

▲明年の海軍擴張 明年度に於ける海軍擴張は目下の財政の許す範圍に於てなす事となり大藏海軍兩次官間の交涉漸く決定したるが各府縣の水害は大影響を來し明年度は僅少の擴張をなすの已むを得ざるに至れり最も世界の大勢上目下の海軍にて國防上到底安堵し得ざるを以て恐らくは四十五年度より根本的擴張を爲す筈なりと聞く(同上)

▲日滿連絡の協定 日滿聯貨物連絡に關し過般來鐵都に於て各代表者集合協議中なりしが該協定成立し調印をなしたる旨公報あり右連絡は結局鐵都迄延長する計畫にて其交涉は來春更に開始する筈なり

▲議員の選擧法案 衆議院議員選擧法案は豫て樞密院に御諮詢中の所愈來る十五日樞密院會議の議に附せらるゝ由因みに二三新聞に十日臨時樞密院會議を開き御諮詢ありたるが如く傳へしは全然無根の誤報なり(同上)

▲海軍擴張と財源 桂首相は飽迄非募債、非增稅主義を變更せざる精神にて海軍擴張費に要する財源は他に之を求めざる可らずとし大藏省當局者に豫て保險業並に淸酒釀造業を官營になさん考案にて綿密に調査を重ねつゝあり(同上)

▲騎兵の特別演習 明十四日より十九日迄磐手、宮城兩縣下に於て擧行に付秋山中將以下參謀旅等昨日岩手縣花卷町に向け出發せり(同上)

▲戰事寄附者木杯 三十七八年戰役に際し寄附金を爲したる公爵毛利元照氏に對し賞勳局より木杯を下賜せられたり(同上)

▲水害復舊補助額 水害復舊國庫補助額は未だ確定せず內務大藏兩省に於て目下夫々交涉中なるが案外多額にして緊急支出となすべきもの四十三年度追加豫算として議會の協贊を求むべきもの合せて一千万圓に達すべし(同上)

▲本年外國貿易額 本年一月より本月十日迄の外國貿易額は輸出三億三千九百十七萬八千圓にして輸入は三億五千六百〇八萬二千圓差引一千六百九十六萬五千圓の輸入超過なりと(同上)

▲內地朝鮮移出入 朝鮮と內地の移出入は移出百一萬千七百十四圓移入四十三萬四千百八十八圓にて移出超過六十六萬七千五百八十六圓也

▲華族の品位調査 宗秩寮に於ては昨今華族の品位行動に關する調査をなしつゝあり遠からず同族審問題となるべし(同上)

▲氣球庫規模擴大 臨時陸軍氣球研究會に於ては曩に陸軍建築部に托し巾四十間奧行十一間の氣球庫を設計したるが田中館博士の歸朝後規模狹小なりとし更に大規模に設計中

▲柿の輸出と奬勵 內地特產物たる柿の海外輸出有望なりとし農商務省は本場なる山梨縣試驗場に對し本年より三ヶ年間國庫補助金を下附して奬勵を爲す筈なり(同上)

伯林電報

▲黑龍江總督の轉任 總督フンデンゴルグ氏は近々他に轉任と同時に極東に於ける軍務は行政より分離せられ總督としてはコンダットベー氏新任現任軍務司令官マルトス中將は副總督に任命さる可(十二日)

▲芬蘭議會の解散 芬蘭議會は解散せられ露帝は同議會の各議案を露國議會に提出すべしと命ぜり

▲葡國外交官任命 葡國新政府は巴里及びマドリッド羅馬等駐在の各外交官を任命せり(同上)

雜報

總督府特別會計

朝鮮總督府特別會計明年度豫算は過般上京せし荒井度支部長官と大藏當局者との打合により大体決定せるが正確なる數字の詳細に亙りては寺內總督の上京を待つて決定すべし而して朝鮮財務に關する政府の方針は成るべく華美の施設を避け特別會計に對する一般會計の補充金の如き從來に比して著しく增加せしめざる方針は己報の如く更に聞く處によれば特別會計明年度豫算は舊制度より新制度に移りたる過渡期のことゝて特に臨時施設費の已定の順序の分は別として臨時部に關する諸般事業費は舊韓國政府時代の事業を繼承する以外新規繼續事業は殆んど之れを計上せざる由なりと

山縣總監の午餐會

山縣政務總監は十三日正午寺內總督同夫人、兒玉秘書官等を老人亭なる李完用伯の別邸に招きて午餐會を催したり

兩班儒生の實數

併合後或る必要の爲め其筋にては兩班儒生の現在數を調査中なりしが其結果によれば左の如し

兩班	五萬四千二百十七人
儒生	一万九千〇七十五人
計	七万三千二百八十二人

此內官吏を奉職し居るものは一萬五千七百五十八人にして其多きは兩班に屬すと云ふ而して茲に兩班と稱するは其總べにして系譜の上より見ば實數は一万內外なるべし則ち右は正系傍系混同なりと云ふ

平安黃海の虎疫

平壤、鎭南浦及び黃海道附近の虎疫は漸次終息の狀態に傾きつゝあるが十二日迄に內務部衞生課に達したる報告に依れば昨今新患者殆んどなく初發以來の患者總數二百八十五名內死亡者二百三名にして現在僅かに八十二名を餘すのみとなり居れるが死亡者の患者に對する百分比例は七一、二强なりと

●京城九月中の金融

京城日本人商業會議所調査に係る京城府內九月中の金融狀況に就いて見るに先月來引續き不況經過の裡に經過し來りし當地金融界は先月下旬に至りて取引上何等の變化を見ざるが如くなれども何となく人氣落付を示し新渡來者の增加と共に市況幾分景氣付きたるの感あり商況亦徐活動の域に進み殊に大小豆牛皮等移出品の出廻り前月に比して多少の增加を爲し土木建築工事其他新たに商工資金の需要ありて稍や活氣を呈したるが如く今試みに本月末各銀行に於ける貸金預金の帳尻を閱するに日本側三銀行にありては貸方に於て三万七千餘圓預金にありては二十九万四千餘圓の增加を示せり然れども一面金銀出納高に於て前月に比し出入合計約二十七萬五千餘圓の減退を見る是等は多く官制改革に伴ふ在京官吏の多數罷免さるべき噂ありし爲め一般をして冬期仕入を手控せしめたる結果大に資金の需用多きに因るものならむ近時釜山仁川等に於ては相當資金の需要ありて當地支店を經由兩地支店に資金を供給したることあるも概して各銀行とも大口の需用起らず常に資金潤澤にして放資に苦しみつゝあるもの如し歸つて朝鮮人側五銀行に於ける帳尻を見るに前月に比し預金に於て二十萬餘圓企銀出納高に於て百八十六万餘圓の減少を示せしも是等は多く本月韓國銀行に於ける或る特種の扱なかりし爲めならん其他貸金の如きは前月に比すれば五十五萬餘圓の增加を見る要するに本月は朝鮮人側棉布棉糸の賣行多く從て輸入の頻繁なると一面米穀類の買出並に季節仕入等此方面に資金の需要ありしに因る要するに來月に入らば官制發布と共に一般人氣を一新し豐作に伴ふ米穀の出廻り冬物の需要等に活況を呈せんと

●死刑囚と犯罪性質

昨四十二年十一月より本年九月に至る死刑囚、統計を聞くに京城、公州、咸興、平壤、安州、大邱、釜山、光州の各地方裁判所を通じて右言渡を受けたる者二百三十一人なるが今之れを各犯罪別に示せば內亂罪三十五强盜三十三强盜强姦九强盜殺傷八十九謀殺四十八故殺十一罪因逃走七名なり因に內亂罪は本年八月以後各裁判所を通じて絕無の姿にして死刑以外該當する者も稍々減少しつゝありと云ふ

●沿岸航路問題解決

仁川沿岸航路問題は當業者間の利害關係より交涉不調に終りし以來何日解決すべしとも豫想し難き狀態なりしが今回岩崎民長青木一葉奧田貞次郞氏の仲裁にて仁川港多年の問題たりし懸案も解決を告げ先きに航路業を經營せんとしつゝありし者の汽船は秋田商會に於て買收し近々航路開始を見るべしと

●觀光團の氣象調査

鐵道院主催の大觀光團は十三日午後七時新義州發十四日午後二時二十三分仁川着の筈なるが此に京城滯在中は一團二百餘名思ひ〳〵の方面に自由行動を取り目的の事業に付き調査を遂ぐるところありしが多くは朝鮮の農業狀態のものゝ如く從て農事と直接の干係ある氣候上の調査を必要とし參々伍々人力車を驅りて馬頭山の京城測候所に就き最近二三年間の氣象調査をなしたるもの頗る多數なりしと云ふ

●金允植子の辭任說

金允植子は一時官爵何れも御辭退申上げたりしも元老の身を以て此際御受けすべく決心し十一日其旨を通じたり然るに副議長の官職は老衰事務を親る能はずとて固く辭し居れりと

●京日と申報の統一

京城日報、每日申報の兩社は供に德富氏監督の下に統一する事となり申報社は從來主筆として鄭雲復氏已に社務を執りつゝあり將來二社は同一の社內に事務を取ることとなるべしと聞く

●土地調査上の談話

來る十八日午後二時より仁川居留民團樓上に於て土地調査課長佐々木事務官韓鑑査官出張日鮮人にして仁川府內に土地を所有する者に對し土地調査上に關する談話ある筈

●寺內總督隨行武官

寺內總督東上の際其隨員は外波海軍大佐、津野、管野兩中佐、藤田大尉の四氏と決定し別に總督府よりは文官を隨へざるよし

●土地所有者の申告

仁川府管內に土地を所有するものは四十四年一月二十日限り土地調査法第五條に依り申告すべしとなり

●最近の京城商況

京城日本人商業會議所の調査に係る九月中に於ける京城商況を聞くに引續きたる不況は九月下旬に入り漸次活氣を呈せり殊に本年は各地とも豐作を傳へ亦た一方日本內地より渡來する者非常に多きを加へ一面官制の發布と共に官吏の能免も略ぼ內定し一般の人氣落付きを示し頓に購買力增加の傾向あり食料品雜貨類は勿論目下冬物仕入時季に際し居る事とて吳服小間物等に在りては可なりの好況を呈し八月中に比すれば約二割以上の需用を加ふに至れり朝鮮人側に於ては同月上旬は舊盆の事とて綿糸綿布等の賣行多く亦た昨年に比し春來降雨順調にして農作物に於て約一割以上の增收を豫想し民心稍々豐にして各店舖を通じて若干購買力の增加を見たり、以上の如く色付きたる市況に母國より入京する者日に月に其の數を增し一面米穀の出廻冬物賣出等大に人氣を恢復するに至るべしと

民團事業の澁滯

併合後に於ける在朝鮮の各地民團は當分の內現在の儘にて存續せしむること は總督府の明示する所なりと雖も民團法は外國居留地に施行する法律なれば朝鮮が日本の領土となりたる今日民團法は永く朝鮮に施行すべきにあらざるは勿論なれば各地の民團は今後如何なる形體に變更せらるべきやは何人も疑問とする所にして其決定を見ざる內は民團に於て設計する事業は殆ど着手する能はず就中理事廳廢止後に於ては民團の監督官廳なく從つて民團經營の事業にして監督官廳の許可若しくは認可を要するものは殆んど中止せざるべからざる有樣にして是れが爲めに內地人の發展を阻碍すること尠からずと云ふ

一區三錢制の調査

日韓瓦斯電氣株式會社は現在の一區五錢制を改め三錢に低減せんとの議あり目下調査中なるが之を過去の實績に徵するに其區劃は東西兩門間を二區に別ちあり各其延長哩程は一哩半餘の長距離にして此の間往來する車輛は三十臺內外なりとす然るに單線の都合と長距離の關係上乘客は之を待つて尠からざる時間を要し且つ全區乘通す等の乘客殊に稀なるを證し得たれば寧ろ其區間を短縮して一區三錢制に改めんと內定し近々實行すべしと云ふ

製麻會社の創立

由來朝鮮は苧麻大麻に富めるより朝鮮人實業家閔大植外十九名及び內地人德久米藏、內山守太郞、村松鑑次郞氏等發起にて當地に製麻會社を創立する由なるが中野武營氏之が社長となる可と

●北朝鮮の興業計畫

大阪市の杉村正太郞、右近權右衛門、近藤喜祿氏等發起人となり目下揭題會社計畫中なるが資本は五十萬圓にして目的は朝鮮北方の淸津、羅南間約十哩に電氣鐵道を敷設し且つ同沿線等に對して電燈供給をなすにあり不日出願の筈にして會社成立後は更らに同方面の殖產事業をも兼營すべく必要に應じて漸次に增資し一般電力の供給を開始す

る目論見なりと

●京城民會の開會期

京城民團にては前日に引續き十三日も午後三時より決算委員會を開き舊龍山民團側の四十二年度及び四十三年度合併前の分の決算を審議し委員は新築龍山小學校の檢分をもなし委員會は同日を以て結了し十六七日頃民會開會の筈

●檜垣長官仁川視察

十三日午前九時四十三分仁川着列車にて京畿道長官檜垣直右氏視察の爲め下仁警察署長岩崎民長其他有志の出迎を受け仁川府廳等を巡視せり

●東西兩門間の複線

東大門より西大門に到る電車複線工事施行の件は既に其筋より認可ありたれば近々工事に着手すべしと

●橫田判事の出發

京城地方裁判所民事部長より大邱控訴院民事部長に榮轉せる判事橫田貞雄氏は十四日午前九時南大門驛發列車にて赴任の途に就く

●金物組合園遊會

在京城內地人金物商組合は來る十五日漢陽公園にて秋季園遊會を開催する筈にて目下準備中

公人私人

▲樋口德太郞(香川縣事務官補) 十二日入京不知火旅館に投宿す
▲窪田梧樓(釜山民團議員) 同浦尾投
▲濱本義顯(滿州粉製會社長) 同上
▲大村大代(咸興地方裁判所檢事正) 同日入京巴城館に投宿す
▲川尻東馬(万朝記者) 十三日歸東す

▲京城手形交換高▼

十月	金高	枚數
十三日	九六、三三二、六九	三七六

▲大阪期米電報▼

▲後場(十二日) 十月限寄十五圓二十六錢 十一月限寄十五圓十九錢 十二月限寄十五圓二十六錢止不着
▲前場(十三日) 十月限寄十五圓三十九錢▲十一月限寄二十一錢▲十二月限寄二十八錢

▲仁川米豆取引所▼

▲後場(十二日) 十二月一節八圓七十六錢▲二節八圓三十五錢四錢▲三節八圓七十五錢六錢七錢八錢九錢八十錢一錢三錢二錢四錢▲出來高一万五千四百石
▲前場(十三日) 十二月一節八圓八十三錢七錢九錢九十二錢九十錢一錢▲二節九十二錢九十錢一錢九十錢八十錢▲三節八十八錢七錢八錢七錢八錢

▲仁川港の出入船舶▼

▲神州丸 十四日大阪より入港
▲漳州丸 同 橫濱より入港
▲高砂丸 同 橫濱より入港
▲木浦丸 同午後五時大阪へ向出港
▲漳州丸 同正午鎭南浦を經て大阪へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 十二日の分如左
乘車客 七九四 下車客 七八〇
乘車賃金 一七二六、二八
▲南大門荷物扱高 十二日の分如左
發送 五八屯 到着 三七一屯
送賃金 八五九、九〇
▲龍山驛の乘降客 十二日の分如左
乘車客 二二七 下車客 二〇九
乘車賃金 三〇三、六八
▲龍山驛荷物扱高 十二日の分如左
發送 五一屯 到着 五四屯
貨金 二五六、八四

▲仁川商況(十月十三日)

▲中白 本日入津陸揚したるは忠淸物新白六十俵相場は品薄と大連地方へ發出の古白米へ混入するため前日來騰貴の姿にて裸かの十一圓二十錢にて手合せ出來たり
▲粳 忠淸物新古合せて五十俵內外の入津なるが其內新粳十二俵裸かの四圓にて奧田精米所へ商談纏まり其餘は午前中には手合せ出來ざるが上物で四圓四五十錢見當なるべし氣配は持合の姿なり
▲大豆 入津したる長端百十二俵通津三十俵にて相場は長端六圓七十五錢通津六圓六十錢にて手合せ出來たり氣配は軟弱なり
▲玄米其他 本日入津皆無なり

●天氣豫報(自十三日午後六時至十四日午後六時)

北東風晴

十三日(華氏) 最高溫度 七一、四 最低溫度 四六、二

▲治外法權▼

ポルトガルの革命も王樣が逃出して、大統領が出來て、內閣が出來て、內閣員が任命されて、列國政府へ通牒されて、一段落を告げた樣に見ねる、併し之は內輪の事、列國政府は未だ新政府を認めぬ▲英國政府が何か云ふだらうと思つて居たら果せるかな記者の推測通り新政府を承認せぬ事に決した、ソレカラ我政府も英國同樣新政府を認めぬソウだ、コウなつて見るとブラカ先生立往生になるかも知れぬ▲昔時ポルトガルが世界的殖民通商の國として榮へた事は史の示す通りだ、まだ葡王室の別れドンペドロが南米ブラヂル新帝國の皇帝となつた事のあるのも史の示す通りだ、併し、併し、モハヤ今日に於ては第三等國に落ちて居る、葡國の盛衰は世界と沒交涉だ▲只だ生意氣な事は過日も書いた通り彼は今でも支那沿岸のマカオを領して居る、本國も治め得ぬ者が亞細亞に領土を持つなどとは餘計な事だ、此際彼れをして元の持主に還附せしむべしだ▲民團が本年一パイで無くなると云ふ者もあれば亦た他の形に變つて長く續くのだと云ふ者もある、ドッチにしても總督府は民團の事を明瞭に極めるが良い、今の如く民團が不定の狀境に在つては敎育道路衞生等の事業進行上有害なことだ▲所謂朝鮮煙草會社の發起人中には株式申込の證據金さへ出來兼ねる雜が入つて居る、ナニ創立委員長の淺田正文が近々ヤッて來ると、彼れが來たなら記者は彼れの蒙を啓いてヤル▲煙草發起人中には本紙を呪つて居る者があるソウだ、ナンデ陰辨慶の必要があるか、本紙の主張に不滿なら堂々と論じてれイデなさい。

▲大阪期米電報▼

▲前場(十三日) 十月止十五圓四十二十九錢▲十一月止十五錢▲十二月止二十錢
▲後場(十三日) 十月限寄十五圓二十錢▲十一月限寄十四錢▲十二月限寄二十四錢止

▲仁川米豆取引所▼ 三十九錢

▲後場(十三日) 十二月一節八圓九十八錢▲二節八圓九十八錢▲出來高二百石
九錢▲二節九十錢一錢四錢三錢五錢六錢▲三節九十七錢八錢九錢九圓八錢九錢七百八十石

増本拘引

▽被害者數十人に及ぶ

[illegible]三丁目佐藤牧舗貸店明治町一丁目諸業池部三代吉外十餘人にして證據充分なるより北部刑事三人連れにて一昨十一日午後八時頃身柄を拘引して目下取調中なり同人は十二日より公州方面に逃走せんと準備中なりしと尚は犯罪の事實に付ては事豫審に屬するを以て後日詳報す可し

發奮鮮人の失望

▽賴みにならぬ紹介人

全羅南道咸平郡靑陵面草浦李載理(二〇)及び同珍島郡三面月加里韓宗珍(二五)崔瑜(三五)の三人は併合後の今日本の本土にて立派な商人にならんと何れも在留邦人の紹介狀を携へ九日夜大阪築港に上陸し李は西區靱北通二丁目肥料商前田光次郎方に赴きたるが同人は曾て鄕里にて語學を六ヶ月も練習したるだけありて『正直に働きますからどうか使ひ下さい』と如才なき挨拶に同店にても餘儀なき人の紹介と云ひ言語も明晰に年齡も恰好なれば早速雇入るゝことゝなりたるも後に殘りし韓と從[illegible]不通にて木浦の一商[illegible]江通六丁目中川雄一方[illegible]川方にては紹介者の氏[illegible]き上に日本語を知らぬ[illegible]餘裕なく持て倦ぐみ[illegible]行したれば同署にては[illegible]幸ひ韓語に巧みなる同[illegible]通譯して事情を仔細に[illegible]にて二十餘圓を所持すれ[illegible]在すれば四五日を支ゆる[illegible]本人等の希望によつて十[illegible]日出帆の咸興丸にて歸國[illegible]をなしたるが折角發奮し[illegible]後に日本國土へ渡り職を[illegible]待ず手を空しくして歸國[illegible]は只氣の毒だでは濟まぬ[illegible]周者は其の當てもなく紹[illegible]の一商人を取調べ相當處[illegible]のなり

彩票買に大連迄

▽當が外れてすご〳〵歸國

滿洲の宏濟彩票は奉天に於ける支那官[illegible]び朝鮮の輸入禁止に大打[illegible]は事實なるも加かもうれ[illegible]影響を被らずと云ふがて[illegible]々彩票を買ふ爲めに大連[illegible]多きを加へ來れるに依る[illegible]は朝鮮及び內地より來る[illegible]の合百師を始めとして遠[illegible]りよりも態々渡航し來り[illegible]ぬは二三百枚を買ひ入れて開彩の日を待ち多くを[illegible]れを受取つて直ちに歸國[illegible]る程の當彩金を得ざれば[illegible]票を買ひ入れて又々二十日間を旅館に遊び暮すものにて中には意外の僥倖を得て歸るものもあれど多くは甚だしく失敗して悄然歸國の途に就くものも尠なからず現に二三日前同地を出立したる一人の如きは百六十枚の彩票が開彩の結果僅かに十三圓を得たるのみなるに再び一万圓を爭はんとする勇氣も挫けて出發したりと云ふ

●醉外人の薩摩守

住所不定の英國人某は十三日午前一時頃より龍山にて朝鮮人々力車に乘り京城靑坡に來り日進樓に登樓して酒を飮み熟醉し又乘車してアストルハウスの前にて降り其所にて路上に醉ひ臥せしより車夫は賃金を請求したるに英人は無一文なりと云ひしより派出所に連行し派出所にて夜明け迄熟睡したる後自分の友人がソンタクホテルに居る故ホテル迄乘せとの事に車夫も承知しソンタクホテル迄來り門口に待ち居りしかど一向出て來ぬより尋ねしに裏口より出でしとの事にてせんまと一杯食はされしと諦め居たる同日正午頃獨立門通りにて車夫が該英人を認め取押へ西大門分署へ同行したるも相變らず無一文なるにより帽子を質に賃金の幾分に代へ吳れとの事なるにぞ嚴戒放還されたり

●當世女房氣質

二ヶ月の餘も仁川歌舞伎座にフン詰つて詮方なき面を見る人もなき舞臺に曝して居た浮れ節芝居市川鯉之介一座此の分でモウ十日も過ごしたことなら枕を列べて乾物になるか又は一座を解散して酌婦にでもなるより外なしと進退茲に窮まらして居たる五六日前馬山に契約成立しれ蔭で命丈けは取り止めて出發したるが後に殘つたる兩三名の中に綠家鶴三郎と云ふ男がある此の男一寸面も議も酌婦や下女連より見れば棄て難い所があるかしてチヤホヤされる果報者なるが以來毎日スルチビの提灯よろしくブラ〳〵して暮し居る擧動の怪しきより探つて見れば是より前宮町邊に住む小○某と云ふ男目下大連に出稼中なるが留守を預る女房たなに成夜歌舞伎座を見物したのが緣となり其の方の仕送りを受けて其の始末と譯つて見れば不思議はない

●成鏡さんッ不量見

京城小廣橋下石洞十五統六戶趙興楠の長男成鏡(十四)は去る八日午前八時頃實父の金三百七十六圓を拐帶して日本へ留學に行かんと仁川迄至り內洞居住韓禹根方に投宿せしを仁川署刑事の爲め取押られ實父に引渡せり

●借金を苦にして

一昨十二日午前十一時三十分頃淸國人の縊死者ありたるを聞くに縊死者は淸國山東省登州府生れ當時南部長洞居住劉善(五五)は同鄕人薫溫(三八)なる者と同居し鍛冶職に從事し居る者なるが同居者薫溫は十二日十一時頃南大門通り朝鮮人梁某方に鐵の棒を取りに行き用を終り歸宅せしに劉は居間に縊死し居るより氣絶せん許りに驚き直ちに南部署に屆出でたるより井口警部は警察醫と共に檢視せしが原因は豫て債務を有し此の頃嚴重に催促され居たれば夫れを苦にして自殺したるものならんと死体は龍山なる淸國人共同墓地に埋葬せしめたりと

●自稱學士の處刑

大坂府北河內郡笠原村長尾九十六番戶當時長谷川町一丁目四十六番戶藤野富次郎は明法學士辯護士と自稱する羽織破落漢なるが明治四十二年十一月中旬西部冶洞二十六統十二戶金明根より中部將長洞五十二統六戶李秉賢に對する約束手形金四百八十圓六十七錢の取立を依賴され手數料として金三十圓を受取り訴訟中三回に受取る可く和解を爲し相手方より物品を強請的に受領し之を賣却し代金は債權者に交付せず横領費消し南部署に檢擧せられし事は既報の如くなるが該事件は一昨十二日懲役一ヶ年に

●觀光團の氣象調査

鐵道院主催の大觀光團は十三日午後七時新義州發十四日午後二時二十三分仁川着の筈なるが最に京城滯在中は一團二百餘名思ひ〳〵の方面に自由行動を取り目的の事業に付き調査を遂ぐるところありしが多くは朝鮮の農業に志あるもの〻如く從て農事と直接の干係ある氣候上の調査を必要とし參々伍々人力車を驅りて馬頭山の京城測候所に就き最近二三年間の氣象調査をなしたるもの頗る多數なりしと云ふ

●滑稽他人の飯

八日午後六時頃神田區美土代町三の四大工三島喜兵衛(五十)といふが倅喜太郎(十六)を連れて神田署へ出頭したので警官が取調べると喜兵衛怖る〳〵『倅が我儘ですから前のやうな者は他人の飯を食はねば出世ができないと言聞かせ芝の鐵工場へ遣りました處、他人の辨當を盜んで食つちまひ、如何に叱言をいつても直りませんからお上の御威光を以て改心させて下さい』

●仁川雜事

仁川京町二丁目菓子製造人村上春吉は本年八月中に朝鮮人李德千より西瓜を買入れ內金を渡し殘金二圓を未だ支拂ざるにより再三警官の說諭を受けて漸く昨日支拂たり▲仁川花町木村助太郎(四〇)は一昨日午前十一時頃同町一丁目に車通行禁止の標札を立て有るに係らず車を引入れたるより科料一圓に處らる▲敷島標客は三十二人にて費消金百十一圓九十八錢なり

●電車運轉數增加

總督府工業傳習所に於ては來る十六日當地官民の重立つものを招聘し同所を觀覽に供する都合なるが其の發行したる招待狀總數一萬通に上りたり右に付き電氣會社にては東大門より鐘路、鐘路より新舊龍山間電車乘客の多數なるべきを察し當日は同區間に限り特に運轉車輛を增加すべしと云ふ

●井門樓新築落成

本年初夏以來新町一丁目に宏壯なる家屋新築中なりし井門樓本店は今回愈々落成し既に諸般の裝飾を終り大々的に開業したるが根が凝性の樓主の事なれば建築裝飾共に頗る精巧を極め大に大料理店の面目を發揮し居れりと此段粹客へ御注進

●横領店員の處刑

島根縣大原郡海潮村大字北原四十三番戶當時住所不定栗原榮四郎(三〇)が四十三年二月より本年九月迄曙町雜貨店中村文吉方に店員として雇はれ中四十二年八月より本年九月迄の間に於て賣掛代金及物品にて四百圓餘を横領費消し南部署に檢擧されし事は既報の如くなるが一昨十二日懲役一ヶ年に處せらる

●主家へ忍び入る

南部河橋洞金漢祚(二〇)は本月五日迄本町二丁目下部雜貨店々員なりしが解雇せられし後同家に忍入り蒔繪の塗物卷煙草入十四個(代八圓)外五點(代百十圓)を竊取し又米倉町二十四番戶細川增吉方に忍入り置時計一個を竊取したる事南部署佐藤村上川副三刑事の探知する所となり逮捕取調中

●鮮人刑事の手柄

南部笠井洞申順元(三四)が本年四月二十七日若草町一丁目藤原弘方にて靴一足(代三圓)を竊取したるを初めとし外十箇所に於て三十餘圓の價格を竊取したる事南部署朝鮮人韓刑事探知し逮捕し檢事局に送らる朝鮮人刑事が獨立にて探知したるは此れが初めて

●スコヌケチトコ

十二日午後七時十分頃龍山櫻町百二十七番戶の露店に等しき煙草店高男克方より黑煙噴き出づるより附近の者はスワコソ火事と馳せ來り消し止めたり原因は洋燈に點火したるまゝ注油せんとして石油罐に火が移りたるものなりと損害は賣品三十餘圓なりと

●三遊亭若遊三

來る十五日より馴染の三遊亭若遊三一座にて開演尙は在來の座員に一大改革を施しヴイヲリンの名手を加へ且つ電氣の應用等も以前よりは更らに一層目覺しきものを演ずべしと云ふ

●自轉車競走大會

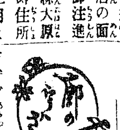
龍山藤勝組トラックに於て素人自轉車競走大會を開催する筈なるが競走志望者は十八日迄に各自轉車屋へ加入申込まるべし

●淨土宗十夜法會

明治町淨土宗開敎院にては本月十四日午後二時及午後七時半並に十五日午後二時十夜法會を修し同院在錫の開敎使長及開敎使の法話あり因に十五日午後は參聽者に粗齋の供養ありと

●メソヂスト敎會

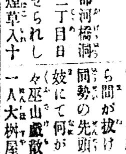
旭町二丁目同敎會にては十四日午後七時半より基督敎講演會を開き來會者を歡迎すと
神の國を求むるの意　義寬光顯君



▲花柳雀君の廓のうわさに氣も浮き立ち一案山子が破れ笠の隙間から覗いた去る日の新町遊廓檢査日の光景を一寸御披露仕るべく候▲第一目にとまつたのは井門支店の濱次で東京バックの書にでもあり相なハイカラ美人に候此の妓の好なは『癡に嬉しき男の力』とか古臭くて而して氣障な文句に御座候當日は金緣眼鏡がなかつたので何處やら間が拔けて居申し候▲續いて滿月樓同勢の先頭に立ちしが力彌、幾代の兩妓にて何が嬉しいのか可笑しいのか散々巫山戲散らし居たり▲其の同勢中の一人大桝屋の銀鳥に銀ちやん早うと挨拶せしは確にいろはと見受け申候溫順相なが玉章美しいのが文の助と若松眠む相に見へたが緊にて候ひし▲第一樓の文學女郎一枚は未だ初々しき萩枝と手を曳きつゝ戾り申候▲岡樓の茶羅子彼れは成程斯うして見ると確かに一頭地を拔けるものに候但し此の中ではに候▲同く袖子は安下宿の味噌汁宜しくイヤに澁し反つた所ウス汚く見受けられ候▲岩春樓の連中は何れも此れも燒栗の横噛り殊に少將の如きは燒栗賣りのヨボの荒蓆に座り込み一段聲を張り揚げて『燒栗サリヨー』と怒鳴つた所何う見ても素人とは思へず能く似合ひ申候何をさせても器用な女に御座候(へ案山子)

今日の運勢

十月十四日舊九月十一日 三碧先勝壬子滿八專入り
△一白 金屬の業務に吉旅行及運送上注意すべし
△二黑 新事見合せの事業務上錯誤起り易き日なり農林業に吉
△三碧 競爭排濟中傷に罹り易き日とす新事旅行婚談に忌む
△四綠 會心の日大凡吉紛爭不和防ぐべし
△五黃 遺失横領防ぐべし建築土木に吉他は手控への事
△六白 新事婚談賣買貸借協議相談見合せの事
△七赤 相談依賴に遭ふあり農業建築に吉他は手控への事
△八白 徒勞に歸し易し金談貸借談不動產上の事に尤も忌む
△九紫 入學門起業開店披露婚談協議相談旅行商探險に妙(本町五丁目三一館判斷)



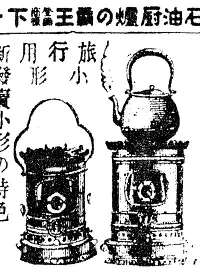
▲大阪期米電報▼
▲前場 十月止十五圓二十九錢▲十一月止十五錢▲十二月止二十[illegible]錢
▲後場(十三日) 十月限寄十五圓二十五錢▲十一月限寄十四錢▲十二月限寄二十四錢止
三十九錢

▲仁川米豆取引所▼
▲後場(十三日) 十一月二節八圓九十五錢▲三節八圓九十八錢▲出來高二百石
▲十二月一節八圓八十六錢七錢八錢九錢▲二節九十錢一錢四錢三錢五錢六錢▲三節九十七錢八錢九錢九圓、八錢九錢八錢九錢四錢五錢六錢七錢[illegible]▲出來高四千七百八十石

●天氣豫報 自十三日午後六時至十四日午後六時
北東風晴
十三日(華氏) 最高溫度 七一、四 最低溫度 四六、二

特許 文明厨爐（銀牌受領第二回製產品同覽會）

石油厨爐の霸王 新案特許 女下ライズ



旅行用 小形

新發賣小形の特色
圖ノ如ク把手付携帶至便且つ優美高尙

茸狩、舟遊等には絕好の炊具
平素の御便利は勿論のこと
定價 真鍮製 金三圓
各地の特約店にて御求めを乞ふ

發賣元 大阪本町 通渡邊筋 島田支店
振替大阪三五六番 電話東一三三六番

代理店 京城本町通五丁目 電話四十五番 釘本金物店
京城本町通六丁目 電話五百六十九番 木林文明堂

輕便座敷用 大幻器械



此發明器械は至極高尙優美の品にして寫眞繪畫等を見るに最も鮮明なる

にして萬物悉く實地に接するが如く壯觀あらしめ嶄新なる高等教育用器械なり

定價 一號形金八十五錢 三號形金卅五錢
二號形金六十五錢 四號形金廿五錢
送費共 一號二號形 金三十五錢
外箱 三號四號形 金三十錢
代金引換は十錢增 切手代用一割增
右器械は遠視近視に不拘使用し得る良器

發賣元 大坂市東區瓦町心斎橋筋 村上重兵衛本店
電話東三〇四九番 振替大坂六一六二一番

定期米 賣買

仁川米豆取引所 仲買人
仁川本町四丁目 佐藤病院隣 廣澤正次郎
電話一七〇番

諸金網製造販賣

鑛山用 製紙用 精米用 織網一式 篩類一式
其他御好次第

右今般當店監獄作業部ニ於テ製造開始致候ニ付多少ニ不拘御用命仰付被下度候也

京城本町五丁目
和洋金物商 釘本藤次郎本店
電話四五番 電信略號「ク」 振替貯金口座朝鮮二五六番

御用心なさい。だまされますぞ

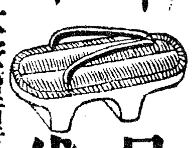
アイボリー石鹼の購買法

一包装……表面に斜に日本文字で「アイボリー石鹼」と入れてありますから小供にも見わけがつきます
一商標……三日月に星の繪がかいてあります
一石鹼の色……白色ですけれど象牙色です、豆腐の様に白いのは眞正の「アイボリー石鹼」でありません
一形……二ッつなぎですから、切つて使用に便利です
一無味無臭……少しも「アルカリ」性分を含まないからいやな味も臭もありません
一浮石鹼……の元祖です、夫れに泡立つことは他の石鹼より多くて使用の後洗ひ氣持がさつぱりします
一販賣店……化粧品店、藥店、雜貨店、どこにも賣つています

アイボリー石鹼の鑑別法

新 荷 着

東京 足袋



正札付大安賣 厘毛引なし 安心して買へ升

本店東京 京城大和町一丁目（日の出橋際） 大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

蜂印香竄葡萄酒



本品は日本の標準葡萄酒として内外大博覽會より二十四個の金銀賞牌を受領せり

近藤利兵衛 總發賣元

不思議の靈藥 家傳快樂園 梅毒專門藥

●痳疾●便毒●骨痛●揚梅瘡●婦人ののぼりこしけ●小兒の乳越し等ひるばい毒の諸病には其効能の著るしき事他に比類なくし病の根を切絕して再び起る事なし我累代の家傳法妙藥にして實に不思議の藥なり●諸君よ御服用ありてその効能を知り玉ふべし

如何なる重症も十日分以上服用する必要なし
定價 五日分 金二圓五十錢 七日分 金三圓也 十日分 金四圓也
▲御服用の上効能無之場合は代金返戾可致候

廣島縣安藝郡中野村 調劑發賣元 後藤松太郎
●京城旭町三丁目やぐら壽司方にて販賣致候
京城發賣元 山川留藏 電話一四一九番

神戶海上運送火災保險株式會社
資本金五百萬圓
出張所 京城明治町一丁目（電話一五四九）

義齒術全般
京城南山町三丁目（伊藤粗商に入る）
小倉三郎 電話

總督府御制服調進

弊店は鮮土に於ける洋服業の開祖として將又卒先者として斯道の獎勵に努め汲々營々爰に十七年の星霜を閱するに至り弊店の調製服に對して世評に定評あり就中御制服は弊店の最も得意とする所諸官衙を始め殊に韓皇陛下時代より今日の李王殿下御一族の御用は依然として特定せられ居り弊店の光榮と致す所に御座候 猶今回多數到着仕候に付誠意熱心に御調製可仕候に付何卒御用命の程希上候



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
（電話四百十二番）

朝鮮各殿下 諸官衙 御用
京城光化門通 淺田洋服店 電話長四一二 大島專藏
平壤大和町 淺田洋服店出張所 電話長四一三

入齒
京城本町九丁目
森登一
電話

横濱火災海上運送信用保險株式會社
資本金五百萬圓積立金百七十三萬圓
京城事務所 南大門通三丁目電話六九四番

移轉御披露

弊館儀各位の御引立により日増隆昌の域に赴き候段從前の家屋にては手狭を感じ候まゝ今般業務擴張の爲め南山町四丁目（花月上隣）の新築家屋に移轉仕り候間此段廣告仕候也

京城南山町四丁目（花月上隣）
金澤旅館
電話一八一番

●上女中至急入用御來談ありたし

大勉强!!!

薄利多賣の目的を大々的安賣仕り候間御小賣とも多少に不拘御用命の程伏而願上候

▲西洋雜貨、洋酒、食料品
▲各國煙草、洋菓子、化粧品
▲支那緞子、紋繻子、絹紬類
▲浦潮更紗、毛布類、食器
支那織物は特に大安賣仕候

上等 食パン 製造販賣

仁川港支那町（電話八一八番）

直輸入卸小賣 ㊊ 義生盛號

京城南大門通（電話一一三六番） 義生盛號
釜山南草梁支那町（電話五六〇番） 義生盛號
木浦各國居留地（電話一六九番） 義生盛號
長崎市梅香崎 裕和盛號

清國支店
營口水世街、奉天城内、上海二擺渡 本店 裕和盛號
鎭南浦、新義州、西門外 芝罘 裕和盛
芝罘は日本一等旅館兼業

韓國官衙御用

營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐アシン 穀物食鹽 諸調料類 一般

發賣總代理店
東京 ランバード商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
東京 國定教科書共同販賣所特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 東京電話新橋三六九二

紙と印刷

諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目 電話百拾番

和洋衣物各種

新案 ㊈たびとた

堅牢で廉價 山崎西織

京城本町一丁目 ㊈ 菜原商店 電話四八三番
㊈ 出張店 京城本町五丁目李家入口角

會席料理 大勉强
京城永樂町三丁目
酒道樂
電話一二七六番

笠齋流割烹
すし津祢
南山町一丁目 電話千五百二番

移轉廣告

從來南山町三丁目に於て裁縫割烹授業罷在候處生徒の增加と共に教場手狭と相成り萬事に不便不尠候間今回

書の處に移轉仕候此段謹告候也

尙新教場は理想的設備をなし業に勉勵仕候間此際入學御希望者は何時にても教則等送呈可仕候二錢郵券添付御申込被下度候

京城大平町二丁目（組町）
裁縫割烹 教授所
野村サワ

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

長崎流
○しるこ ○茶碗むし ○むし壽し
（出前も御好に應じ可申候）
南山町二丁目（南山湯上隣）
松ぞの
（電話一一八五番）

瀛船出港廣告

月串、喬洞、海州行
天草丸 安來丸 成歡丸
隔日出港
仁川港海岸通（電話四一九）柴田回漕店

㊎ 芙江公州 間出帆廣告

芙江發 毎日後一時（京城方面ヨリ急行接續）
公州發 毎日前七時（京城方面行急行接續）
御用向ノ御方ハ（荷客共御取扱可申候）（京城仁川芙江公州）中條店へ御尋被下度候